



プレス発表資料

平成 27 年 2 月 27 日
秋 田 大 学

ロケットプロジェクト、WAX プロジェクトなど 17 プロジェクトが活動

「学生自主プロジェクト成果発表会」を開催

学生の創造的で主体性にあふれる活動成果を紹介

秋田大学（学長：澤田賢一）は 3 月 3 日（火）、ものづくり教育 FD シンポジウム「平成 26 年度学生自主プロジェクト成果発表会」を開催します。

本学大学院工学資源学研究科附属ものづくり創造工学センターでは、学生が自主的に考え活動するプロジェクトの支援活動を行っており、平成 26 年度から文部科学省特別経費プロジェクトとして推進しています。今年度は 17 のプロジェクトが動き出しており、ハイブリッドロケット打ち上げプロジェクトや、シュウダイ WAX プロジェクト、雪国秋田を彩るプロジェクションマッピングプロジェクト、KAJIYA プロジェクトなど理工学部の学生が中心となったプロジェクトに加え、教育文化学部の学生らが中心となり、藤里再生プロジェクト、五城目キイチゴプロジェクト、“あきたこもち”という製品群のためのプロジェクトなど、地域課題の解決を図ることを目的としたプロジェクトも活動しています。学生の発想から生まれたプロジェクトとして、商品化さらには成果物を用いた学生ベンチャーの起業などを目指し活動を展開しています。

当日は、17 のプロジェクトがプレゼンテーション発表またはポスター発表に加え、成果物の展示、試食やテスターを行います。

日 時：平成 27 年 3 月 3 日（火）13:30～16:00

場 所：秋田大学 理工学部 1 号館共通 127 講義室（手形キャンパス内）

【お問い合わせ先】

秋田大学大学院工学資源学研究科附属ものづくり創造工学センター 副センター長 和田

TEL：018-889-2806／E-mail：pub@mono.akita-u.ac.jp

平成 26 年度 学生自主プロジェクト成果報告会



やる気



仲間

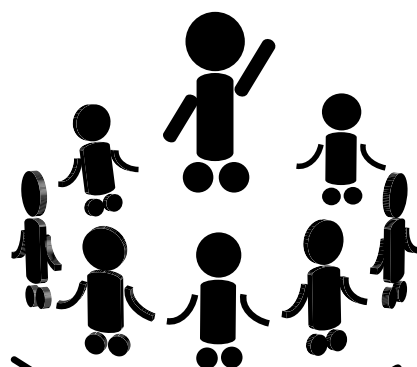


行動

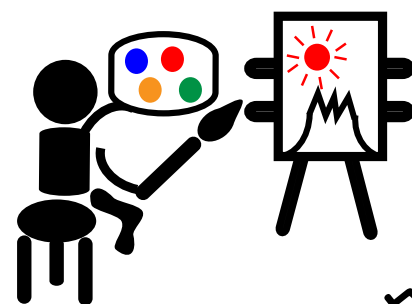


実現

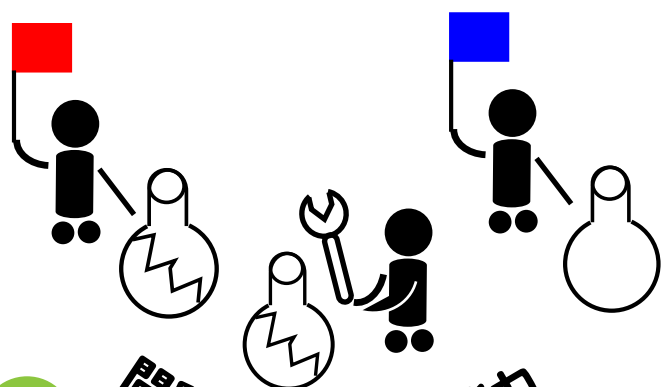
プロジェクト活動で身につく 4 つの力



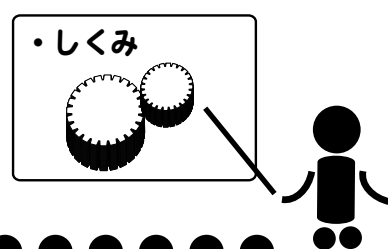
1 マネージメント能力



2 エンジニアデザイン能力



3 問題発見・解決能力



4 プレゼンテーション能力

日時

平成 27 年 3 月 3 日 火

13:30 > > > 16:00

会場

秋田大学理工学部 1 号館共通 127 講義室

主催 / 秋田大学大学院工学資源学研究科
附属ものづくり創造工学センター
Tel/Fax : 018-889-2806
E-mail : pub@mono.akita-u.ac.jp

HP はこちら



平成 26 年度 学生自主プロジェクト成果報告会

日時：平成 26 年 3 月 3 日（火）13 時 30 分～
場所：理工学部 1 号館 共通 127 講義室
主催：工学資源学研究科附属ものづくり創造工学センター

< プログラム >

- 13:30 ～ 13:40 開会式
- 13:40 ～ 14:50 プレゼンテーション発表報告
(1 プロジェクト 10 分：発表 7 分、質疑応答 3 分)
- 15:00 ～ 15:30 ポスターセッション
- 15:30 ～ 15:45 「地域に飛び出す「学生自主プロジェクト」推進による
主体的学びの拡大とCOCの形成」
センター長 神谷 修
- 15:45 ～ 15:55 講評、表彰式、記念撮影
- 15:55 ～ 16:00 閉会式

平成 26 年度学生自主プロジェクト

今年度は以下の 17 のプロジェクトが採択されました

シュウダイ WAX プロジェクト、藤里再生プロジェクト、からくりプロジェクト、五城目キイチゴプロジェクト、KAJIYA プロジェクト
米作りプロジェクトを通じて食・農に関する勉強会の実施、ハイブリッドロケット打上プロジェクト、学生向けアプリ開発プロジェクト
富岡秋田を彩るプロジェクト、マッピングプロジェクト、秋田大学カメラプロジェクト、秋田大学 3D 化プロジェクト
ガソリン機関車プロジェクト、相模ロボットプロジェクト、アビオニクス開発プロジェクト、秋田杉プロジェクト
太陽光バイブラインモジュールの試作、「あきたこもち」という製品群のためのプロジェクト

現在秋田大学では毎年、学生らが実施する学生自主プロジェクトを公募し、プロジェクト活動に対して、実施場所、工作機械や道具、予算等の支援を実施しております。毎年、プロジェクト数と参加学生数に増加傾向が見られ、昨年度は 11 つのプロジェクト、今年度は 13 のプロジェクトが採択されております。これらのプロジェクトの主な成果やプロジェクトから派生した学生と一般社会との連携事業等について以下にご紹介いたします。

・平成 20 年度 パテントコンテスト入賞

学生宇宙プロジェクトに参加する学生がプロジェクト活動で開発した「ロケット分離・放出機構」にてパテントコンテストに入賞し特許を取得。

・平成 22 年度 能代市庁舎 3D 化プロジェクト

秋田大学 3D 化プロジェクトが能代市と連携し重要文化財に指定されている能代市庁舎を 3D 化し、新庁舎建設時の資料として利用。

・平成 22 年度 自転車発電プロジェクト

エコ発電プロジェクトが機手市と共同研究として、運動と健康にも繋がり発電も可能な自転車発電装置を開発し、機手市交流センター「Y2（わいわい）ぶらざ」に 2 台の製品を納品。

・平成 23 年度 学生団体初のハイブリッドロケット海上打上回収実験に成功

学生宇宙プロジェクトが学生団体としてははじめてとなる秋田県能代沖からのハイブリッドロケットの海上に向けての発射、回収実験に成功。企業を入れても国内で 2 例目の快挙であり、秋田県から本格的なロケットが海に向けて打上げられたのは故糸川博士の固体ロケット打上から 56 年ぶり。

・平成 23 年度 パテントコンテスト入賞

秋田大学ヨーグルト開発プロジェクトが開発した「2 層ヨーグルト」がパテントコンテストに入賞し特許を取得。

・平成 23 年度 第 8 回種子島ロケットコンテスト優勝

学生宇宙プロジェクトに参加する学生が、高度部門優勝、プレゼンテーション賞、IHI エアロスペース賞の 3 つの賞を受賞した。

・平成 23 年度 日本航空宇宙学会北部支部最優秀学生賞受賞

学生宇宙プロジェクトに参加する学生がロケットの海上回収に成功した実験について発表し最優秀学生賞を受賞。

・平成 25 年度 秋田まるごと！GABA へラアイスプロジェクトが開発したアイスクリームが製品化

